

独断

注目商品

REVIEW

ゼオライトの“ふとん”で果樹の花芽を守る



全国平均小売希望価格
4,620円(税込み) 10kg入り

多孔質乾燥資材

5) 霜ガード (特許出願中)

お問い合わせ

ロイヤルインダストリーズ株式会社

〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1-15-19

TEL 03-3489-1140

E-mail: ric@royal-ind.com

http://www.keipak.co.jp/

保肥力を改善する土壤改良資材として知られるゼオライト。多孔質とあって、結晶中に無数の小さな空隙を持つているのが特徴の鉱物だ。この空隙には水分子を持っており、加熱するとその水が沸騰して、泡を吹くことから別名「沸石」と呼ばれる。ただし、脱水してもゼオライト自体の構造はそのまま、残った空洞によって、再び水分を強力に吸着する特性がある。

今回ご紹介する「霜ガード」は、そのゼオライトに肥料を添加した資

材。成分はゼオライト83%、ブドウ糖9・8%、窒素全量0・3%、水溶性リン酸0・6%、水溶性カリ0・1%、水溶性苦土0・6%、水溶性鉄0・1%。肥料登録を受けているが、土壤に散布するのではない。梨、サクランボ、リンゴ、桃、すももなどの果樹に液体散布することで、つぼみや花、成りはじめの果実が受ける晩霜害を防いでくれる。これからの時期に活躍する資材だ。本剤を日中に液体散布しておく、昼間の空気を抱き込んで、フワッと

した暖かい空気の層を果樹表面に作ってくれる。この「ふとん効果」が夜まで持続するので、寒害や凍霜害から守ることができる。ちなみに暖かい空気を抱かせるためには、前日の午後3時頃までに散布するのが理想的であるらしい。また水や霜は夜露が凍って生成するが、本剤を散布しておけば、ゼオライトの微粒子が夜露を吸着して内部に閉じ込めるので、水や霜は生成が難しくなるという。

もし、水や霜が生成されても、本剤のゼオライトの微粒子は、果樹の表面にやや浮き気味に接しているため、凍霜害はその分軽減される。またゼオライト以外のブドウ糖やリン酸、カリなどの成分は、樹液濃度を高め、葉・つぼみ・花・幼果の耐寒性を強める働きがある。

作業としては開花3〜4週間と、ほぼ風船状態になった時の計2回散布すればよい。スピードスプレーヤーがあれば実に簡単だ。全国平均希望小売価格は1袋10kg入り4620円。凍霜害の予防には50倍で使用、水5000ℓに1袋投入する。散布量を200ℓ/10aとすると1848円/10aだ。

薬剤散布時に混用すれば副次効果として、葉液の「乾き」が速まって、サビ果などの葉害を軽減できるとい

う。つまり「霜がこなくても損はない」とのこと。さらに落弁促進、花カス除去効果もある。乾燥によって蔓延しにくくなる病気については、発生の割合がおのずと少なくなる。果樹だけでなく、果菜、野菜、小豆、ビート、ジャガイモなど畑作経営でも、発芽初期から幼苗期に散布すれば凍霜害予防に効果がある。

最近では天気予報の精度が高く、ますます正確になってきている。天気予報を見て、霜が降りそうな予察がでていたら、すかさず散布するという使い方もあるだろう。遅霜で収量が大幅減になるよりも、結果的には安いはず。風雨にあたると落ちてしまいうので、パラフィン系の固着剤の加用が勧められている。

あとは本剤でどこまで低温に耐えられるかという問題だ。実は霜が降りるかどうかは、最低温度だけではなく積算温度も関わるから、一概には決められない。めやすはリンゴでマイナス2度、サクランボでマイナス3度まで。それ以下になる場合は灯油を炊くなどと併用したほうが安全ということだ。簡単にコストも安いのは確かだから、「保険だと思ってお使いください」というキャッチフレーズは納得できるだろう。

(長谷川竜生)